



島教協

# 《すべては「子どもたちのために」》 情報報

http://www.kyougikai.org

E-mail  
office@kyougikai.org

〒693-0011 出雲市大津町2214 Tel/Fax: 0853 (22) 7762 代表者 吉田 修 編集人 曾田史郎 No.656

## 教育研究全国大会 (岐阜大会)

大会主題 美しい日本人の心を育てる教育の創造  
〜次代を拓く力〜の育成を目指して〜

八月十日(土)、十一日(日)、岐阜県の長良川国際会議場、岐阜都ホテルにて、全日本教職員連盟の第二十回教育研究全国大会が開催されました。連日気温が二十九度を超える岐阜市でしたが、島教協からは八名、全国各地から延べ一六〇〇名の会員が集まり、研修を深めました。

大会初日は、七つの分科会に別れ、全国各団体より選出された教職員による提案発表が行われました。第三分科会では、出雲市立稗原小学校 宮本恵美子教諭が道徳教育について提案発表を行い、その後の研究協議を通して、道徳の時間における発問の工夫や伝え合っ場の工夫、異年齢集団の活動の展開について、考えを深めることができました。

また、指導助言者による「指導者ゼミナール」も行われ、参加者の悩みや質問に対し、指導の先生方から明確にお答えをいただきました。

大会二日目の開会行事には、来賓として、山下和茂文部科学省大臣官房審議官、野田聖子衆議院議員、富田茂之衆議院議員ら多くの方々に臨席いただきました。

また、記念講演では、我が国の伝統文化と美しい日本人の心」と題して、講師の一龍齋貞花氏より講演がありました。采百俵の講談では、采百俵の米は食べればすべになくなる。しかしそれを教育にあてれば、明日の一万俵、百万俵となると、人を育てることの大切さを改めて教えていただきました。

参加者から全国各地の実践を聞くことができ、今後の参考になった。また、他県の方とも交流したり、指導助言の先生や講演講師のお話を直接聞いたりすることで、非常に刺激を受けた。来年度、たくさんの方の会員さんが参加されるといいと思った。この感想がありました。

来年度の全国大会は、八月二日(土)より宮崎県で開催される予定です。是非、ご参加ください。



## 第7次中央要請行動

八月二十七日(火)、二十八日(水)、全日本教職員連盟の第七次中央要請行動に参加しました。

今回は先日の参議院選挙で当選された方々を中心に、全日教連の組織理解、文教予算等に関する要望をさせていただきました。地元に戻っておられる議員さんもおられました。直接要望を伝え、教育諸課題により関心を持ってもらえるいい機会となりました。

今回要望した内容の署名活動も行っています。島根からたくさんの方の声を国政に届けたいものです。ご協力をよろしくお願います。



## 教育シンポジウム青森のご案内

場所・・・青森県弘前市  
日時・・・11月16日(土)～17日(日)  
テーマ・・・「日本の底力」  
～じょっぱり魂に学ぶ～  
参加費・・・1万円

ちよつと遠い青森の地での開催ですが、16日に出発、17日出雲着、1泊2日の日程です。お問い合わせや申し込みは、島教協事務局まで。



# 教育講演会のお知らせ

## 「日本人はなぜ 日本のことを知らないのか」

～神話を学ぶ大切さ～



たけだ つねやす

竹田 恒泰 氏

10月6日(日) 13:30～16:00

場所 朱鷺会館 (「しまね花の郷」の隣です)

申し込みは、FAXまたはメールでお願いします。FAX送信票は、島教協ホームページからも印刷できます。

最近、テレビで竹田さんの露出が増えてきたこともあり、一般の方から講演会への問い合わせが増えてきました。先日は島教協OBの方からも参加申し込みがありました。

今回の講演会は、たくさんの会員さんに来ていただくことを前提に、各方面に補助金の申請もしています。出雲市内からは会員さんの半数程度来ていただくことを期待しています。

ご家族の方も誘っていただいて、是非、ご参加ください。



岐卓大会に参加されなかつた会員さんへ、事務局から、岐卓のおみやげ詰め合わせ(名様)を差し上げます。

岐卓のおみやげプレゼント

申し込みは、島教協事務局まで。学校名とお名前が分かるようにFAXかメールでお申し込みください。

締切は、九月十八日(水)必着です。

Fax 0120-968-280

<http://www.kyougikai.org>

### 平成26年度 教職員の再任用制度について

再任用制度について、県教委より説明がありました。

- 常時勤務が短時間勤務(常時勤務の2分の1を基本)。ただし2分の1勤務がどの程度用意されるのかは不明。
  - 対象者には10月頃説明がある予定。
- ※行政職の再任用は、週31時間勤務(正規の0.8人分)。

教職員の職務内容は、気力・体力の持続が難しいものだと思います。もちろんこの制度が現場に混乱をきたすことになってはいけません。皆さんのお考えをお聞かせください。

▼七・八月の学校訪問、お忙しい中ご協力いただき、ありがとうございます。今回の訪問でいろいろな話を聞かせていただきました。聞かせていただいた話や今回お願いする会員アンケートを活用しながら、現場の声を県教委や関係諸機関に届け、よりよい交渉にしていきたいと思っています。▼岐卓大会では、私たちの代表として、稗原小学校の会員の皆さんにご協力をいただきました。昨年の県教研でまとめられたものをベースに、県外の参加者にも分かりやすく実践発表をしていただきました。また、道徳の時間に誠実に向き合い、丁寧に実践を積み重ねておられる点を助言者の押谷由夫先生も高く評価しておられました。▼二学期が始まりました。慌ただしい毎日ですが、どうか心と体を大事にお過ごしください。(し)



